

文教常任委員会

番 号	令 8 ・ 10 号	受理月日	令和 8 年 6 月 11 日	付託月日	令和 8 年 6 月 19 日
件 名	世田谷区立小学校における学習指導要領に基づいた国歌指導の徹底および行政調査の透明化に関する陳情				
請 願 者					
紹介議員					
<p>【陳情の要旨】</p> <p>世田谷区立小学校において、学習指導要領で定められた国歌君が代の継続的な指導が適切に行われておらず、卒業直前の形式的な指導に留まっている実態がある。区教委は「適切に指導している」と虚偽に近い回答で問題を隠蔽しているが、これは区の基本計画との明白な矛盾であり、教育予算の不適切な執行である。直ちに実態調査を行い、全学年を通じた適正な指導体制を構築することを強く求める。</p> <p>【陳情の理由】</p> <p>私は令和ボイス代表として、一人の 50 代女性から寄せられた切実な不満を重く受け止め、本陳情を提出する。この女性は、区内の小学校で国歌指導が卒業間際まで放置されている惨状を憂い、区に改善を求めたが、返ってきたのは「問題ない」という現場の実態を無視した冷徹な定型文であった。一人の納税者をここまで追い詰め、不信感を抱かせているのは、世田谷区教育委員会の無責任な管理体制と現状認識である。</p> <p>子どもたちに日本や郷土の伝統・文化を尊重する心を身につけてもらうために、学習指導要領で定められた「第 1 学年から第 6 学年まで、各学年の目標及び内容に従って継続的に指導すること」という法的拘束力を持つルールに対し、実際の現場で行われているのは、卒業式のための「付け焼き刃の練習」である。国歌をまともに歌えない卒業生を輩出している事実は、国が掲げる、伝統と文化を尊重する態度を育てることという理念に対して、実態が伴っていないと言わざるを得ない。</p> <p>また、世田谷区決算データ（地方財政状況調査）を確認すると、区の教育費には膨大な税金が投じられている。教育費総額は約 530 億円に達しており、その内、小学校費にも多額の予算が配分されている。これほど巨額の予算を執行しながら、文部科学</p>					

省が定める最低限の指導事項すら履行できず、さらに市民からの指摘に対して「適切に指導している」と実態と異なる回答を行うのは、もはや行政の怠慢を通り越した「虚偽報告」であり、血税の背信的執行と言わざるを得ない。

マスタープランで美しい言葉を並べ、予算を消化しながら、教育の根幹である指導要領の遵守を疎かにし、不都合な真実には蓋をする。このような行政の姿勢を、我々令和ボイスは断じて許さない。計画と実態の乖離を放置し続けるのであれば、世田谷区の教育行政に対する信頼は失墜し、子供たちのアイデンティティ形成に回復不能な損害を与えることになる。検討するという言葉で逃げることは許されない。具体的かつ即効性のある対策を求める。

【要望事項】

1. 世田谷区立全小学校に対し、第1学年から第6学年まで各学年の音楽科授業等において、学習指導要領に基づいた国歌指導が年間計画の中に具体的にどう組み込まれているか、悉皆調査を行い、その結果を速やかに公表すること。
2. 次年度以降、全小学校の全学年において、学期ごとに国歌の指導実績を報告させる仕組みを構築し、区民がその実施状況をいつでも閲覧できるよう、教育委員会のホームページ等でKPI（重要業績評価指標）として公開すること。